

Daigasグループの価値創造の歴史 ～121年の挑戦と進化～

1905年の創業以来、Daigasグループの歴史は、時代の変化や社会課題に対し、常に自らの強みを信じ、新たな領域を切り拓いてきた「挑戦と進化」の連続です。幾多の困難をイノベーションで乗り越えてきたこのDNAを原動力に、私たちはこれからも杓にとらわれないダイナミックな挑戦を続け、暮らしとビジネスの“さらなる進化”のお役に立つ企業グループであり続けます。

1900～

大阪ガスの創業

— 都市の安全と近代化への貢献 —

都市部の石油ランプ火災という社会課題に対し、安全なガス燈を普及させたことから当社の歴史は幕を開けました。電灯台頭の危機には女性の家事負担軽減というニーズを捉え「台所の熱源」へ転換。お客さま起点の姿勢は、現在の価値創造の原点となっています。



「ガスのある家、ない家」のチラシ

1940～

シナジーによる多角化

— 事業領域の拡大 —

エネルギー事業で培った技術や資産を武器に、経営の多角化へ踏み出しました。石炭副産物からの材料事業、不動産活用の都市開発事業、そして80年代にはインフラのIT知見を活かした情報事業へと領域を拡大し、エネルギー事業に左右されない強靱なポートフォリオを構築しました。



近畿コース販売によるガス副産物販売事業化

1970～

第二の創業

— 天然ガス転換と安定供給 —

供給安定性や環境性の向上、高熱量化を目指し、社運を賭けて挑んだ天然ガス転換。16年をかけLNG調達から基地建設、配管整備、全440万戸のお客さま宅の機器調整までを無事故で完遂しました。高い使命感のもと、一致団結して困難な挑戦をやり切る組織力は、今も当社グループの強みです。



冬の機器調整作業

1990～

海外展開・電力事業参入

— 総合エネルギー企業への進化 —

日本のガス・電力事業者初となるインドネシアでのガス田権益取得を皮切りに、上流事業の先駆者として海外事業を切り拓いてきました。国内でも電力小売自由化以前から泉北天然ガス発電所の建設を決定するなど、先んじた挑戦を継続。現在ではグループ収益を力強く牽引する柱へと進化しています。



泉北天然ガス発電所

2020～

第三の創業

— カーボンニュートラル社会実現への挑戦 —

地球規模の気候変動という課題に対し、カーボンニュートラルな次世代エネルギー「e-メタン」の社会実装に挑んでいます。環境が激変しようとも安定供給への使命を守り抜き、常にお客さまに寄り添いながら、時代を超えて選ばれ続ける革新的な企業へと進化を続けます。



大阪・関西万博でのメタネーション実証設備

当社グループの主な取り組み

- 1897 大阪ガス設立
- 1905 ガスの供給開始

- 国内
- 海外
- LBS

- 1949 近畿コース販売(株)設立(現 大阪ガスケミカル(株))
- 1965 (株)大阪ガス不動産設立(現 大阪ガス都市開発(株))

- 1972 LNG輸入開始
- 1975 天然ガス転換開始
- 1983 オージー情報システム(株)設立(現 (株)オーガス総研)

- 1990 天然ガス転換終了
- 1990 インドネシアサンガサング鉱区の権益取得
- 2004 米国IPP事業参画
- 2009 豪州ゴーゴンLNGプロジェクトの権益取得
- 2009 泉北天然ガス発電所の運転開始
- 2013 シンガポールでガス販売事業開始
- 2016 低圧電気供給事業参入
- 2019 米国サビン社全株取得
米国フリーポートLNG商業運転開始

- 2021 カーボンニュートラルビジョンの公表
- 2021 大阪ガスネットワーク(株)設立
- 2022 インド都市ガス事業参画
- 2025 エネルギーランジション2050の策定

売上高推移

1900年代～ 都市の近代化

1950年代～ 戦後復興・高度経済成長

